

RST 主催学習会 報 告 書

開 催 日 平成 25 年 4 月 18 日 (木) 18 : 30~20:00 大研修室

出席者等 院内、院外併せて 41 名

講師 : Fisher&Paykel 東日本セールスマネージャー 美谷島先生

記録 : 小林 功欣

学習会項目 : 臨床における適正加湿の見方・考え方・設定方法

議題 (資料参照)

1 温度の基礎

- ・水と水蒸気について
- ・絶対温度、相対温度とは
- ・飽和水蒸気量とは

2 気道機能について

- ・気道の防御機能について
- ・代表的な湿度の値について

3 挿管時の最適な加湿レベルについて

- ・推奨加湿レベルについて
- ・低湿度による挿管気道、最適湿度による挿管気道について
- ・不十分な湿度による人体への影響について

4 使用方法について

- ・プローブの接続の仕方
- ・小児回路の選択について
- ・新生児における使用方法について
- ・インキュベーター、インファントウォーマーのセットアップ
- ・加湿状況判断の指標として
- ・湿度補正マニュアル設定の必要性について

5 問題の解決

6 その他

- ・事前に募集した質問事項に対する返答

RST 主催学習会 報 告 書

7 学習会に参加した感想

- 人工呼吸器の加温、加湿について理解が深まり重要性を改めて認識することができました。今回は事前にスタッフから質問事項を募集したことにより勉強会に参加できなかったスタッフも含め日頃、疑問に思っていることが解決できたのでよかったです。このような方法も今後の学習会で生かしていきたいと思います。特に印象に残った点は人工呼吸器回路内の結露について会場内で活発な意見交換がされたのでとてもよかったですと感じました。又、他の質問事項に対しても、ひとつひとつ回答して頂き大変分かりやすかったです。最後に今回の学習会で得た学びを今後のケアに生かしていきたいと思います。